中能登町下水道事業における水の官民連携（ウォーターPPP）

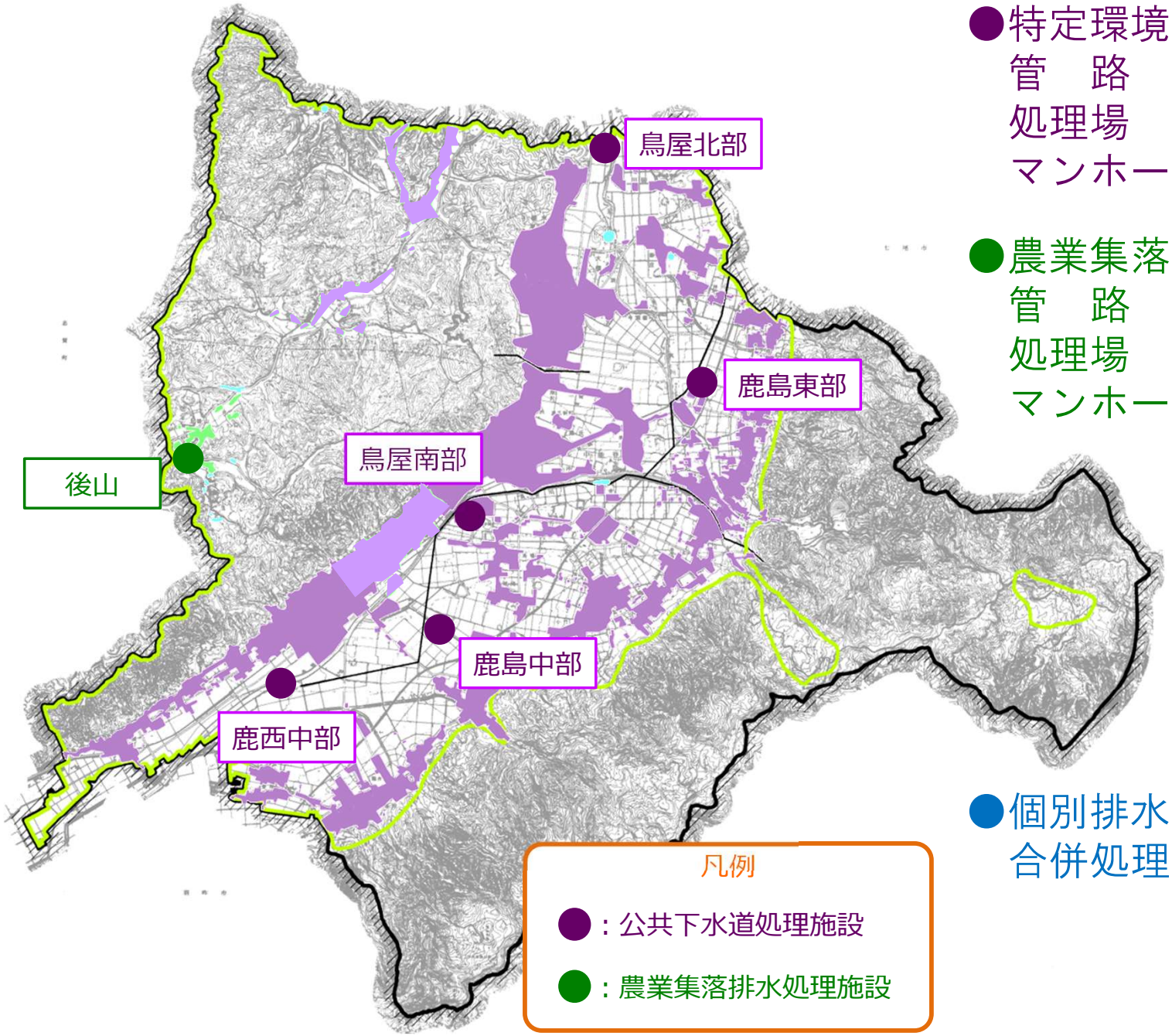
－中能登町における下水道施設の概要と課題－

石川県中能登町

目　次

- 中能登町の下水道事業の概要
- 中能登町の下水道事業の課題
- ウォーターPPPの導入イメージ
- サウンディング調査について

中能登町の下水道事業の概要



●特定環境保全公共下水道

管　路	256.0km
処理場	5箇所
マンホールポンプ	87箇所

●農業集落排水

管　路	2.7km
処理場	1箇所
マンホールポンプ	2箇所

●個別排水処理

合併処理浄化槽	35基

中能登町の下水道事業の課題（ヒト）

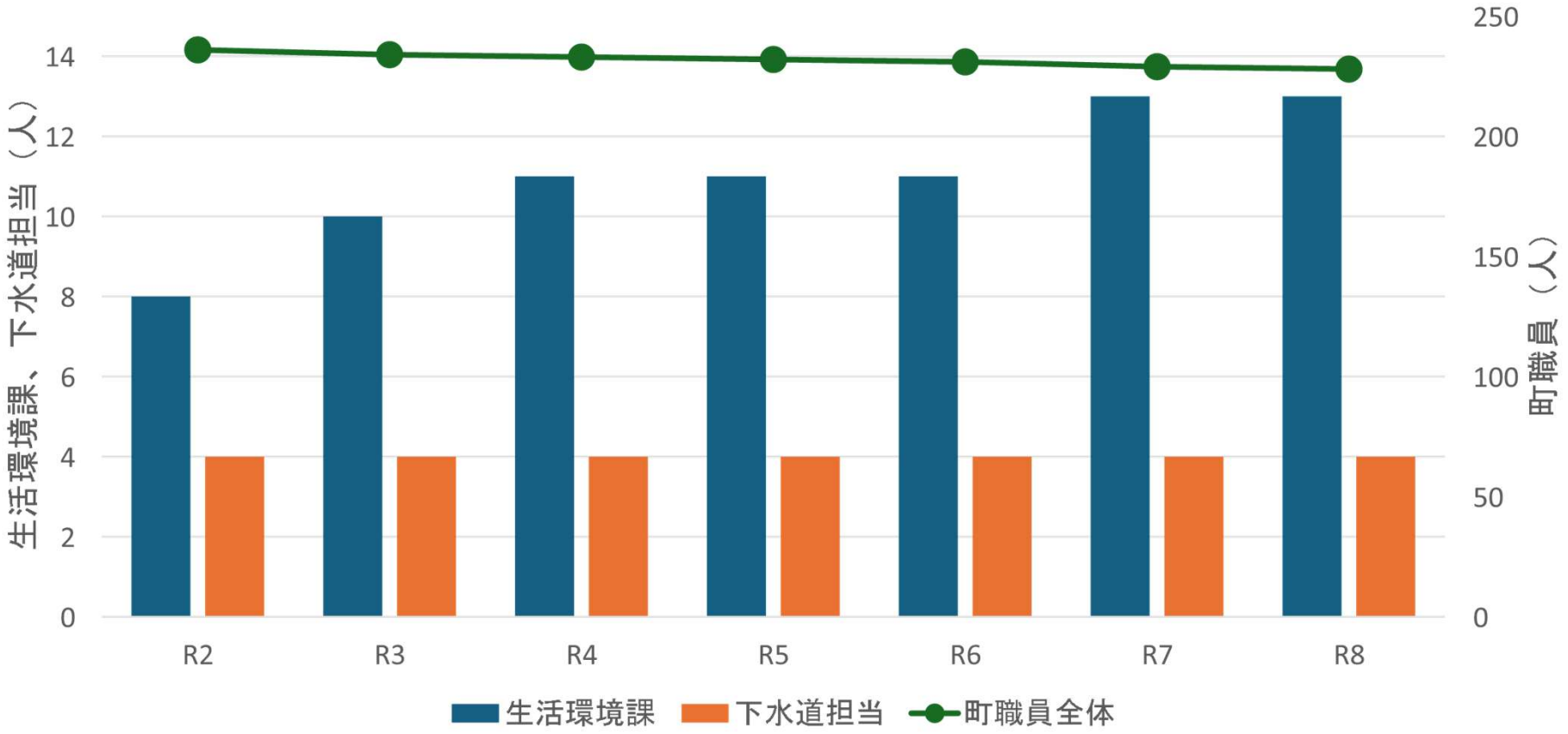


図　下水道担当職員数の推移（R2～R8）

- 町職員数は減少傾向にある。
- 下水道担当職員は４人で横ばい。
- 事業量や管理対象施設に対して人員の余裕は大きくない。

中能登町の下水道事業の課題（ヒト）

視点	現状	評価
職員体制	下水道関連職員は４人で横ばい	少人数体制であり、体制補完が必要
管理対象	特環公共、農集排、個別排水、バイオマス関連施設を管理	対象範囲が広く、職員負担が大きい
委託状況	包括的維持管理業務を導入済み	民間活用の基盤はあるが、町側の契約管理が重要
技術継承	機械、電気、管きょ、水質、汚泥処理など専門分野が広い	属人的な知識を台帳化・標準化する必要
今後の役割	ウォーターPPPでは性能管理やモニタリングが必要	町側の判断業務と民間の実施業務の分担整理が必要

中能登町の下水道事業の課題（モノ）

現在、中能登町の下水道施設の維持管理は、p.1に示す施設を対象に、「中能登町下水道処理施設維持管理業務」として、３年間の包括委託で実施されている。

区分	現行の維持管理業務委託の内容	今後の検討事項
対象施設	処理場、マンホールポンプ設備、その他関連設備など	管きょを含めた包括化を検討する
業務内容	運転管理、点検、修繕、水質検査、汚泥処理、電気保安など	点検、修繕、更新計画案作成まで含めた一体管理を検討する
契約期間	３年間の包括委託	10年程度の長期契約を視野に入れ、民間ノウハウを活用しやすい仕組みを検討する
発注方式	仕様発注を基本としつつ、一部で性能発注的な要素を含む	要求水準、KPI、モニタリング方法を明確にし、性能発注化を進める
リスク分担	修繕費、物価変動、災害対応などで整理が必要である	官民対話を通じて、管理可能な者がリスクを負担する考え方を整理する

中能登町の下水道事業の課題（カネ）

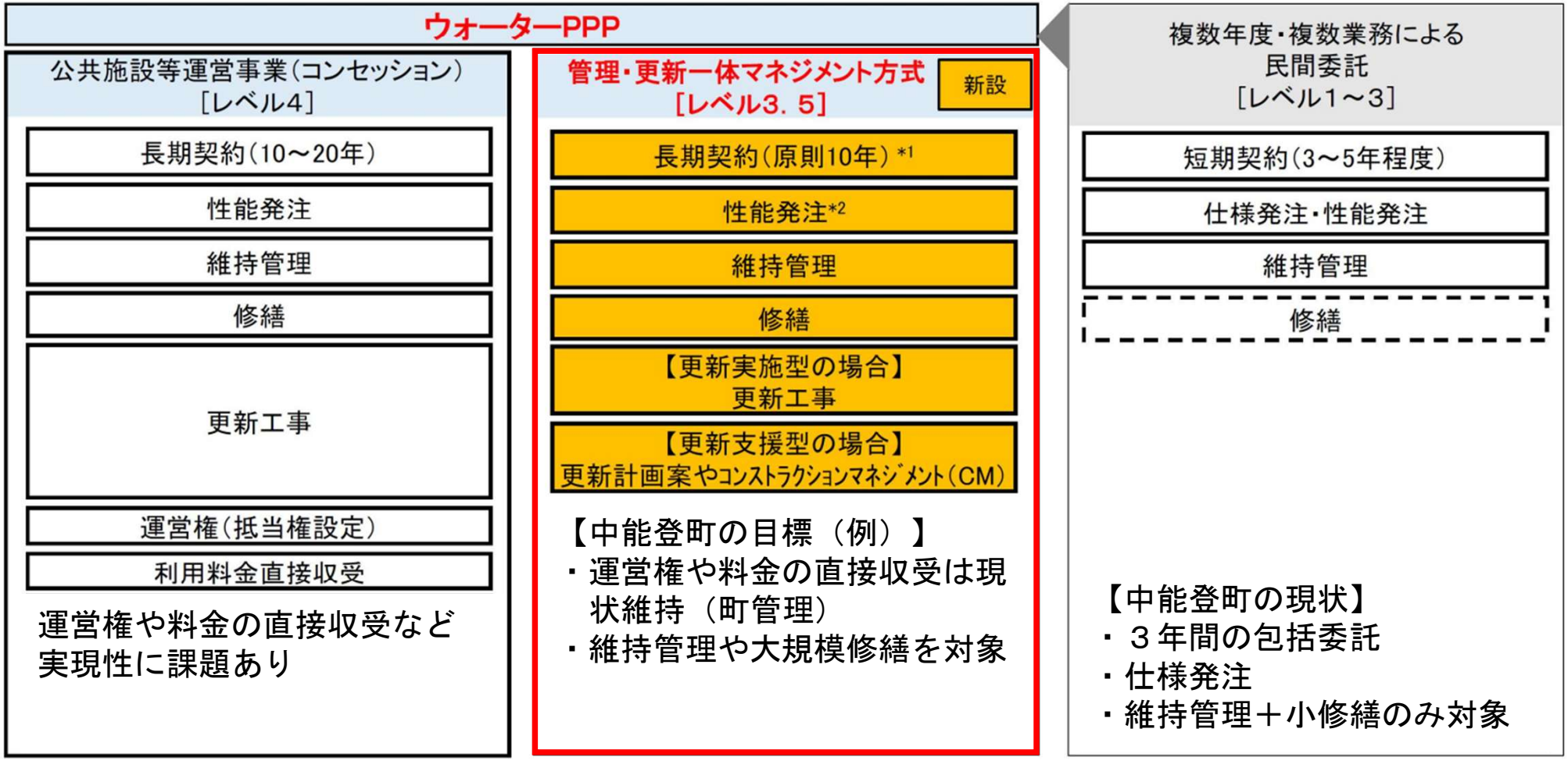
今後、中能登町の下水道事業において想定される課題（カネ）は
以下のとおり。

・人口減少に伴う使用料収入の減少

・施設の老朽化の進行により、修繕費用の増大

・施設の老朽化の進行により、施設更新需要の増大等

ウォーターPPPの導入イメージ



出典）内閣府「ウォーターPPP の概要」（R5.6）

ウォーターPPPの導入イメージ



出典）国土交通省「下水道分野におけるウォーターPPP ガイドライン第2.0 版」

サウンディング調査について

目的

- 水の官民連携事業（ウォーターPPP事業）を含む官民連携手法の導入可能性を検討するにあたり、幅広く意見を把握することを目的とします。

アンケート調査

1）実績・技術者　2）ウォーターPPPの認識・実績について　3）本事業に関する関心
4）望ましい事業スキーム　5）実施条件　6）リスク分担　7）コスト削減等
8）他分野との連携　9）今後について　10）業務項目（事業別）

個別ヒアリング

- アンケート回答結果を踏まえ、各企業の参画意欲や、より具体的な対象範囲や
- 対象業務などの聞き取り調査を実施します。

サウンディング調査について

項目	日程
実施要領の公表	令和８年１１月
アンケート調査	令和８年１１月３０日まで
個別ヒアリングの実施	必要に応じて実施
調査結果の公表	令和９年１月下旬予定

※スケジュールの期間や実施方法については変更となる可能性があります。
※個別ヒアリングはアンケート回答者のうち、参画意向者へ案内を送付し、実施を予定しています。
※希望者全員の個別ヒアリングを実施できない場合がありますので、予めご了承ください。